

“みなも”きらめく

公民連携サステイナブル城下町 OKAZAKI

～乙川リバーフロントエリア～

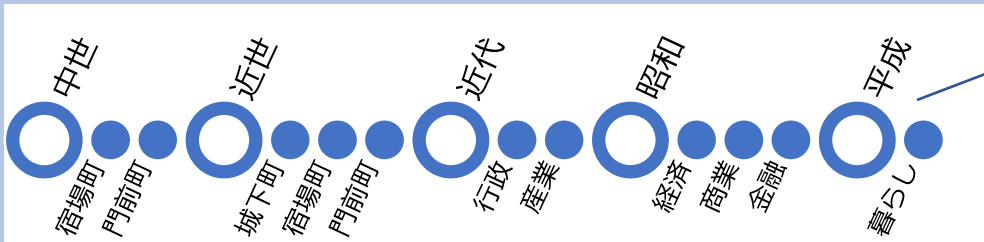
愛知県岡崎市



1 取組みの背景

【歴史と役割】

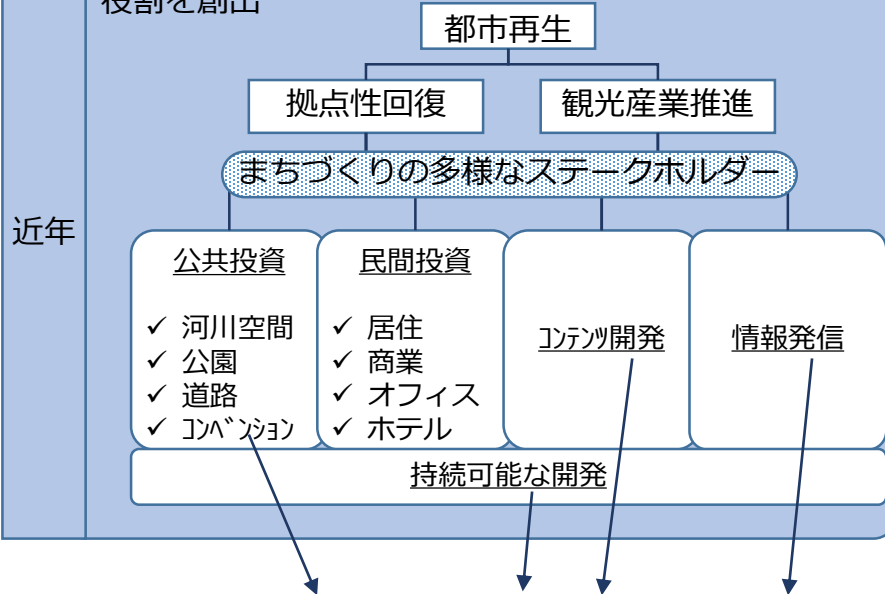
古くは中世から、時代に合わせて柔軟にその役割を変化させながら、広域で中心的な役割を担ってきたエリア



徳川家康公生誕の岡崎城や自然豊かな乙川を含む拠点性から、岡崎市民が愛着を寄せる象徴的なエリア

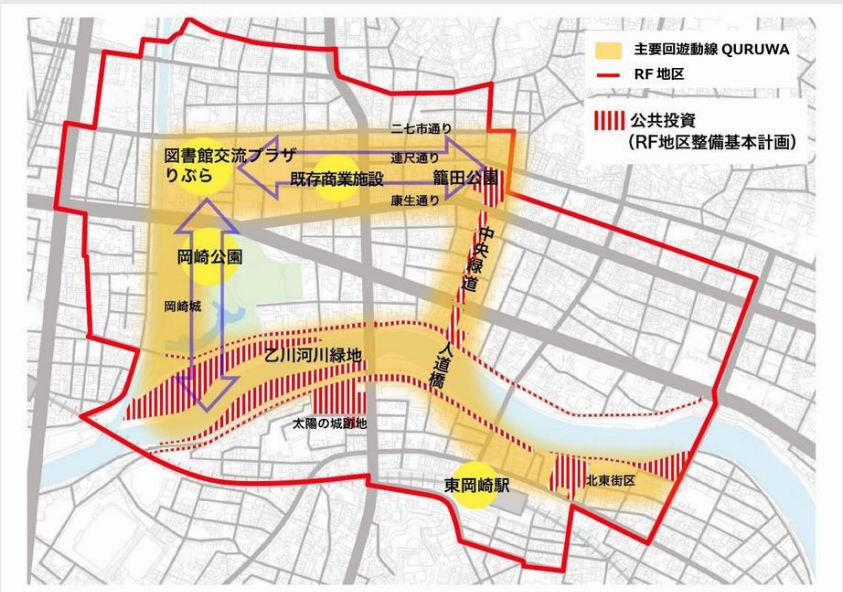
平成前半	商業・サービス業が市内に広く分布し、乙川リバーフロントエリアの拠点性が低下
------	---------------------------------------

過去の歴史に倣い、都市再生の取組みを通じて現代の役割を創出



自治体SDGsモデル事業

今後
コンベンション施設完成をひかえMICE効果最大化にむけたナイトタイムエコノミー推進を軸に、施設利用が期待される自然科学研究機構との連携を通じた市資源の情報発信力強化、夜間照明電力供給等を公民連携により推進する。





2 自治体SDGsモデル事業の概要

“みなも”きらめく 公民連携サステイナブル城下町 OKAZAKI ～乙川リバーフロントエリア～

経済

<課題>
MICE効果を取りこぼさぬ！
ナイトタイムエコノミー推進

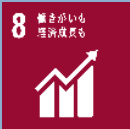
<課題解決事業>

(観光)

- ①ナイトタイムエコノミー全体計画策定
- ②ナイトタイム体験コンテンツ開発

(インフラ)

- ③岡崎城イルミネーション設備整備
- ④プロジェクションマッピング川面投影
- ⑤防犯カメラ兼人流分析カメラ設置



社会

<課題>
科学とともに歩もうぞ！
口下手な三河武士の情報発信力を鍛錬

<課題解決事業>

(科学)

- ①自然科学研究機構の一般公開等連携
- ②先端技術(TILAコンソーシアム)連携

(居住促進)

- ③岡崎市PR動画作成
- ④情報発信トータルプロデュース



環境

<課題>
再開発もなんのその！
豊かな自然とともに歩む城下町

<課題解決事業>

(エネルギー)

- ①イルミネーションへ再エネ電源供給

(気候変動)

- ②都市環境シミュレーションの実施

(水・森林)

- ③自然科学研究機構による環境保全講座
- ④地元間伐材等のまちなか活用



三側面をつなぐ統合的取組

「SDGs 公民連携相互提案プラットフォーム」の構築・運用



SDG s 公民連携相互提案プラットフォーム

① ルールをレールに乗せて

- 制度運用の土台となるルール（施行済）を運用フェーズへ

② 多様なステークホルダーの参画

- SDG s を共通言語に様々なまちづくり主体が参画できる開かれたプラットフォーム

③ 課題解決型の提案受付

- ナイトタイムエコノミーなど、市が設定した課題に対する解決策の提案受付

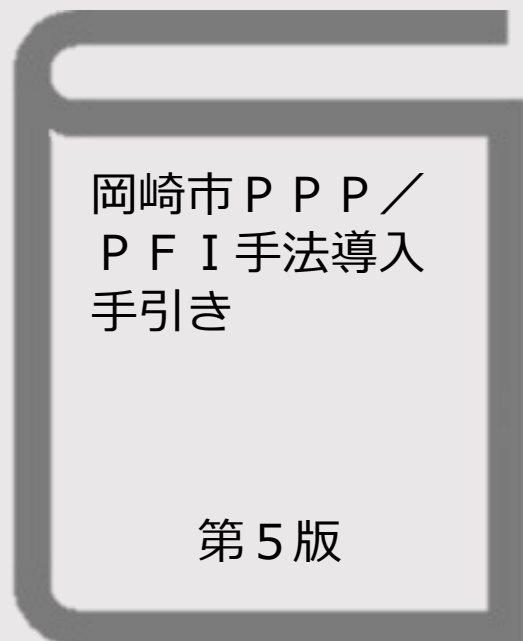
④ 相互提案型への進化

- 民間からの課題設定や、市からの解決策提案など相互提案できる制度へ進化



3 ① ルールをレールに乗せて

- 地方創生のキーコンテンツである「公民連携」
- 経済対策3本の矢の1本、公民連携の先駆けとなるPFI・PPPの先進事例を多く有する岡崎市
- 早くから「PPP/PFI導入の手引き」を整備・運用・改定し、すでに第5版を数える



この手引きに基づき導入された本市事例は9件にのぼる

https://www.city.okazaki.lg.jp/1550/1551/100500/p001328_d/fil/tebiki-5.pdf

IV 1-2 民間事業者からの発案

法第5条の2に基づき、民間事業者から市に対し、PFI事業として実施する事業についての発案又は、実施方針案又は、既に実施方針が出された事業に関する発案が行われる場合があります。この場合には、市による検討、評価の結果、発案内容の全部又は一部が採用され、所要の実施方針の策定又は変更が行われた上で、法第6条に基づき特定事業の選定が行われることも考えられます。

- (1) 民間事業者発案の受付
- (2) 発案の評価
- (3) 評価の結果

プラットフォームの形成

すでに運用中のルールを、まちづくり全般に幅広く提案が受けられる形にカスタマイズしてプラットフォームを形成



3 ② 多様なステークホルダーの参画

乙川バ-フロントエリアのまちづくりに関わる多様なステークホルダー

まちづくりデザイン会議	公共空間・民間空間の都市デザインの優れた魅力的なまちづくりを推進するまちづくり主体
かわまちづくり協議会	民間主導における河川空間での自由で多様な活用及び先駆的な取組みを推進するまちづくり主体
歴史まちづくり協議会	歴史的な風致の維持・向上を推進するまちづくり主体
スマートコミュニティ推進協議会	スマート化の推進により、社会面、環境面、経済面において、持続可能な社会の構築を目指すまちづくり主体
総代会連絡協議会	市民の90%が加入する全554町内会の会長により組織される共助の担い手
乙川を美しくする会	乙川及びその支流地域住民が力を合せて事業を展開する環境保全活動の担い手
伊賀川を美しくする会	伊賀川及びその支流地域住民が力を合せて事業を展開する環境保全活動の担い手
自然科学研究機構	最先端の研究を推進するとともに、地域に開かれた研究所を目指すキ-コンテツ（市内には5研究所のうち3研究所が立地）
TILAコンソーシアム	上記機構の分子科学研究所社会連携研究部門による小型集積レーザーの社会実装を目指す産学官の連携体制
地域電力小売会社	事業利益を活用して、再エネ普及などの環境施策推進を中心に3側面の課題解決を推進する（R1.3.9設立）
地域林業商社	乙川水源の森林で販路網の構築による林業の再生を推進する（2021年度設立予定）
観光協会	ナイトタイムエコノミー推進パートナー
商工会議所	ナイトタイムエコノミー推進パートナー
地元警察署	ナイトタイムエコノミー安全対策パートナー
地域金融機関	地域経済の循環や制度設計の相談パートナー
酒部建設グループ	コンベンション・ホテル建設の優先交渉権者
その他	・モデル事業のアイディア共創 株式会社 一旗、東邦ガス株式会社、日本PFI・PPP協会、株式会社アクティビティジャパン ・再開発を計画・実施する各民間事業者

<参画促進の仕掛け>

まちづくり主体は、それぞれの分野における強い関心をもって組織されている。その範囲は、空き店舗解消、再開発、健康、スマート技術、歴史保存など、非常に幅広い。このモデル事業は、あえてそれぞれの主体が活躍できる隙間を用意しており、その隙間を埋めることが各主体にとっての活動メリットにつながる。

<ラテラル思考の共有>

他分野主体の課題に耳を傾ける姿勢とともに解決していく姿勢（パートナーシップ）をもって臨めば、自らの分野の推進がスムーズとなることが理解しやすいよう、毎回の議論の冒頭で他市SDGsの成功事例などを紹介することで議論の道しるべとし、全体最適へつながるラテラル思考を育む。



3 ③ 課題解決型の提案受付

SDG s 公民連携相互提案プラットフォーム

多様なステークホルダー

岡崎市



課題提案

解決提案



課題提案（モデル事業）

SDG s を共通言語に

MICE効果を取りこぼさぬ！ ナイトタイムエコノミー推進

科学とともに歩もうぞ！ 口下手な三河武士の情報発信力を鍛錬

再開発もなんのその！ 豊かな自然とともに歩む城下町

④の試金石(NTT西日本社屋の活用)

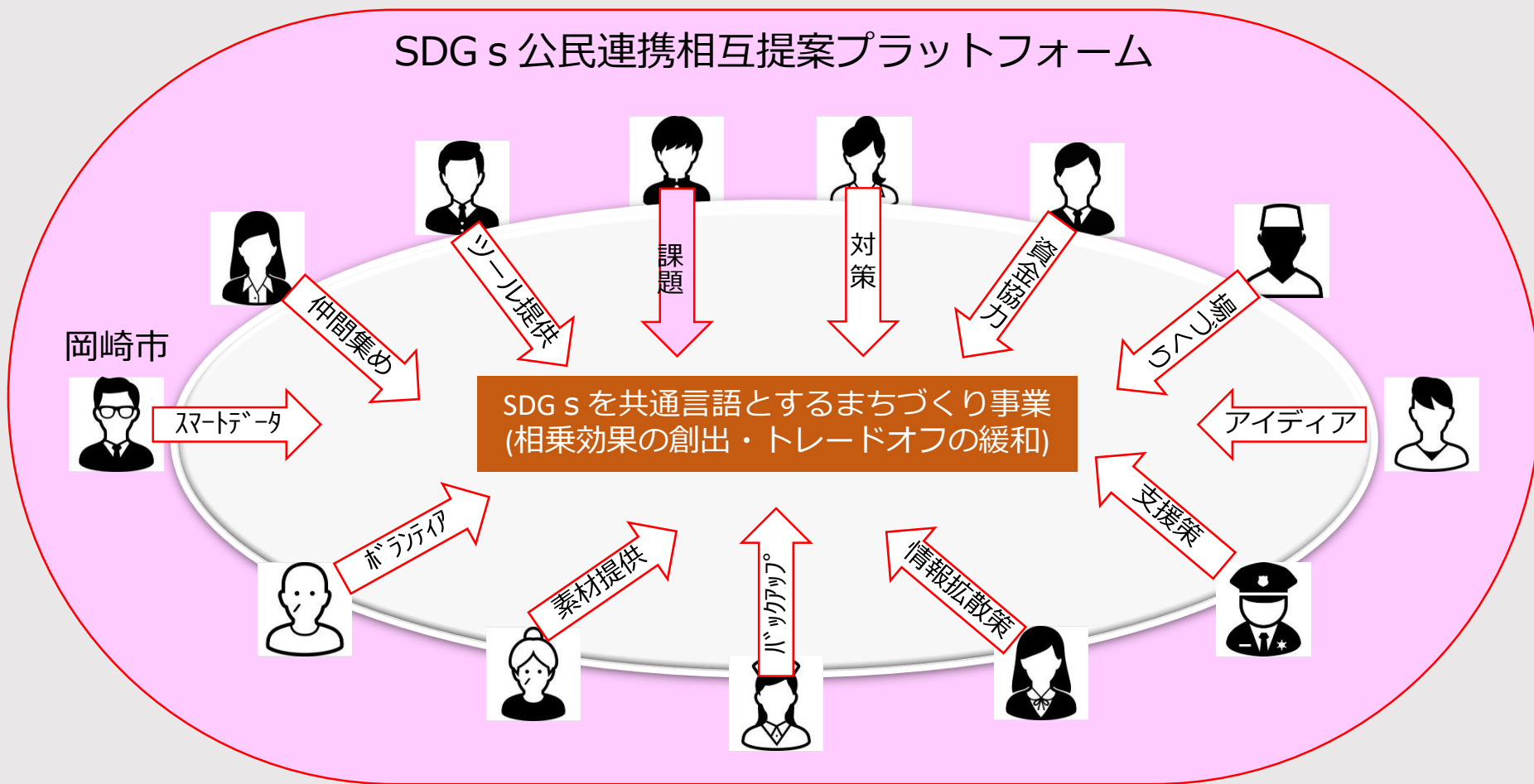
SDG s を共通言語に

岡崎市とNTT西日本は、令和元年6月8日、連携協定を締結した。その一環で、NTT西日本から岡崎ビルの1階部分をまちづくり活用へ提供する申出があった。これをプラットフォーム課題としてステークホルダーから意見を募る。



3 ④ 相互提案型への進化

SDG s 公民連携相互提案プラットフォーム



誰でも参画でき、誰でも提案できる、開かれたプラットフォームの形成
(普遍性・包摂性・参画型・統合性・透明性)



4 経済、社会、環境の各側面の相乗効果

経済

(観光)

- ① ナイトタイムエコノミー全体計画策定
- ② ナイトタイム体験コンテンツ開発 (イワ)
- ③ 岡崎城イルミネーション設備整備
- ④ プロジェクションマッピング川面投影
- ⑤ 防犯カメラ兼人流分析カメラ設置

社会

(科学)

- ① 自然科学研究機構の一般公開等連携
- ② 先端技術(TILAコンソーシアム)連携 (居住促進)
- ③ 岡崎市PR動画作成
- ④ 情報発信トータルプロデュース

科学のショーコンテンツ増加や情報発信力の強化が図られることで来街者が増加する。

経済(人流)分析カメラの設置に伴い、マルチユース(防犯)機能を付加し、まちの防犯性能が高まる。

環境のショーコンテンツ増加や都市環境シミュレーションの実施により、まちの経済価値が高まる。

新たな商機で地域電力小売会社や地域林業商社の財務基盤が強化される。

SDGs 公民連携相互提案
プラットフォーム

環境

- (I初年)
- ① イルミネーションへ再エネ電源供給 (気候変動)
 - ② 都市環境シミュレーションの実施 (水・森林)
 - ③ 自然科学研究機構による環境保全講座
 - ④ 地元間伐材等のまちなか活用

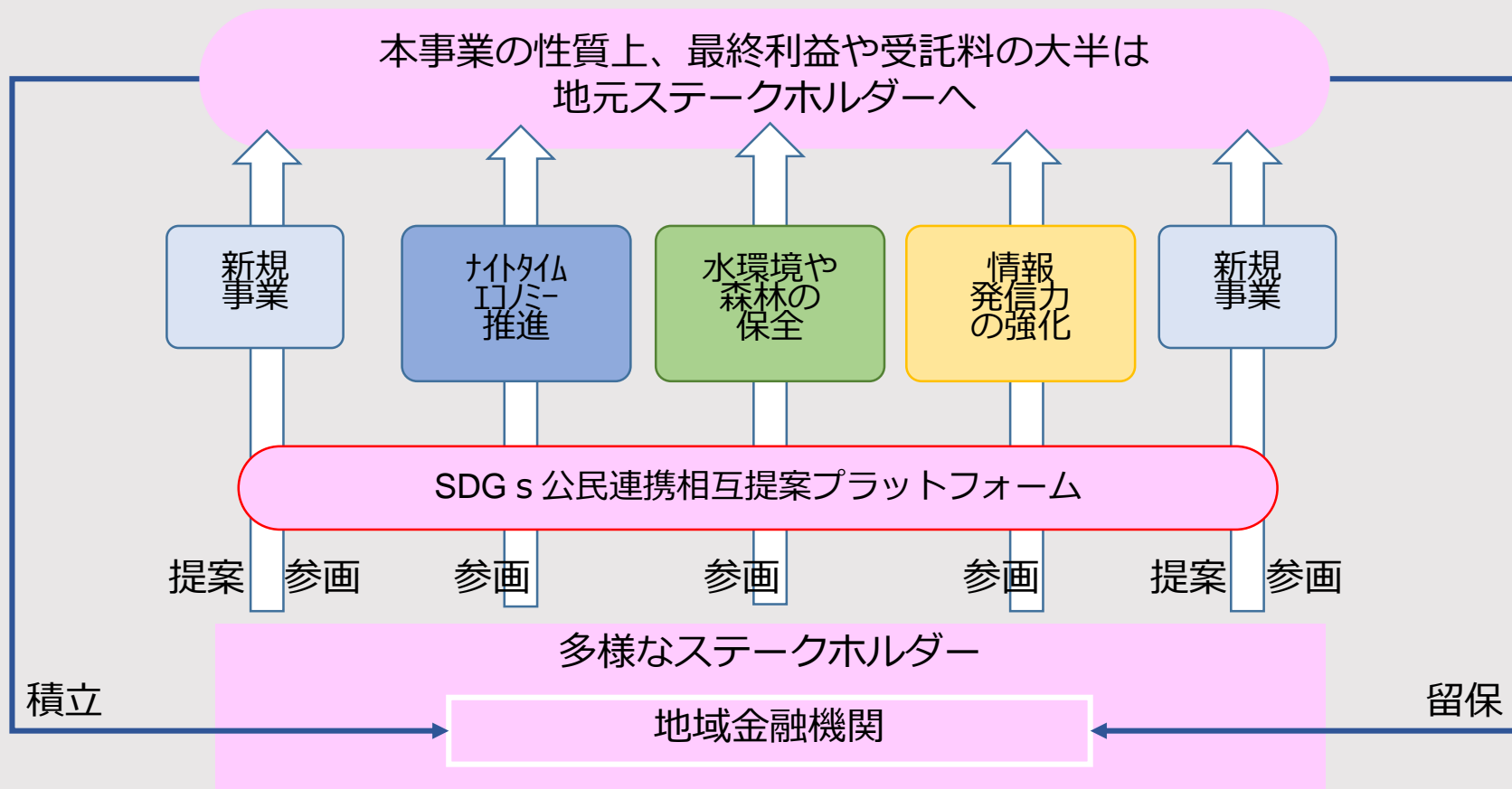
研究成果を展開する機会が増加し、研究所の魅力が拡散することでまちの魅力が高まる。

環境啓発コンテンツ増加や情報発信力の強化が図られることで、市民や来街者の環境意識が高まる。



5 自律的好循環の具体化に向けた事業の実施

- 本事業（ナイトタイムエコノミー）は、その性質上、受益の大半が地元ステークホルダーへ流れる
- 地元ステークホルダーのほとんどは、地元金融機関との資金取引により成り立っている
- プラットフォームへ地元金融機関の参画を得ることで、地元金融機関を介した資金・事業の自律的好循環が期待できる。

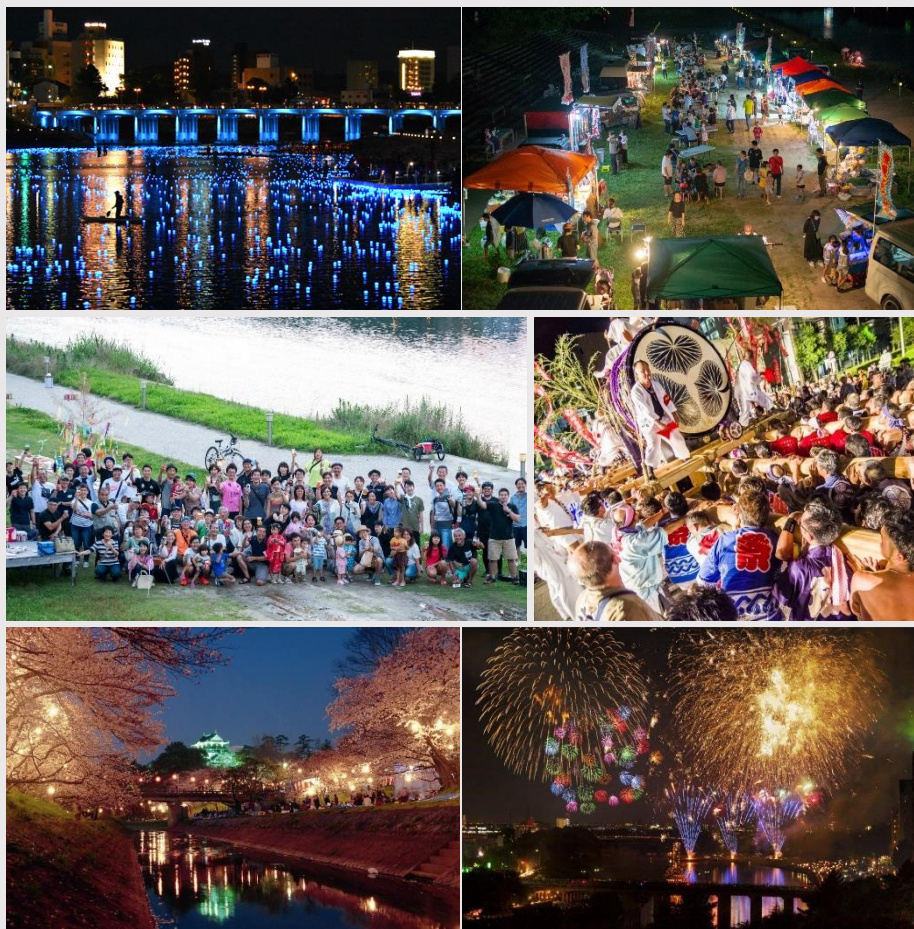




“みなも”きらめく 公民連携サステイナブル城下町 OKAZAKI ～乙川リバーフロントエリア～



“みなも”きらめく



公民連携サステイナブル城下町 OKAZAKI



～乙川リバーフロントエリア～

